

審議会等の会議結果報告

| | |
|------------|---|
| 1. 会 議 名 | 第 52 回 松阪市手話施策推進会議 |
| 2. 開 催 日 時 | 令和 8 年 2 月 17 日 (火) 18 時 35 分～19 時 40 分 |
| 3. 開 催 場 所 | 松阪市役所 5 階特別会議室 |
| 4. 出席者氏名 | (委 員) 森浩平、深川誠子、高柳吉紀、亀田紀子、岩坂由華、中村勝博、谷中靖彦、脇葉敦 (事務局) 青木覚司、小山賢司、中野貴士、川村美結 |
| 5. 公開及び非公開 | 公開 |
| 6. 傍 聴 者 数 | 0 名 |
| 7. 担 当 | 松阪市福祉事務所障がい福祉課 TEL 0598-53-4059 FAX 0598-26-9113 e-mail : shogai.div@city.matsusaka.mie.jp |

○協議事項

- ・令和 7 年度「まちかどミニお手話べり会」について

第 52 回 松阪市手話施策推進会議 議事録

日 時：令和 8 年 2 月 17 日（火）18 時 35 分～19 時 40 分

場 所：松阪市役所 5 階特別会議室

出席委員：森浩平、深川誠子、高柳吉紀、亀田紀子、岩坂由華、中村勝博、
谷中靖彦、脇葉敦

事務局：青木覚司、小山賢司、中野貴士、川村美結

傍聴者：0 名

1. あいさつ 議長あいさつ

2. 協議事項

■令和 7 年度「まちかどミニお手話ベリ会」の振り返り
実施報告書 概要

事務局 11 月 29 日のイベントご協力ありがとうございました。おかげで無事に終わることができました。市民の方に手話は言語の 1 つであることを知ってもらい、手話についての関心と理解を深めてもらうという目的でした。参加者は 229 人と今年が 1 番が多く、令和 5 年と比べても 1.6 倍となりました。イベントの中身は基本例年と変わらず、まず手話の啓発ポスターの表彰式です。そしてスタンプリーの方ではミニ手話教室・お手話ベリ体験、パネル展示、指文字しおりの 3 つを行いました。次にアンケート結果ですが 6 つにポイントを絞っています。1 つ目は全体的にポジティブな意見ばかりで批判が 1 個も書かれていなかったということです。2 つ目は親子で参加でき、実際にろう者の方と話せて、丁寧に教えてもらえて嬉しかったというコメントが多かったことです。3 つ目は自由なコメントを求めた設問に、このイベントのメインであるミニ手話教室に対するコメントが集中していたことです。4 つ目は回答者の 6 割の人が手話で挨拶、もしくは会話をしたことがあったということです。5 つ目はミニ手話教室の実施時間もちょうどいいということです。6 つ目は提供する手話の内容についてです。初心者の方もいますが、手話と触れ合ったことがある方が 6 割もいらっしゃるため、もっと踏み込んだ内容をしてもいいのではないかということです。

（資料説明）

表彰式の振り返りをしていきます。今までは表彰式の出席者は6名ほどでしたが、今回受賞者12名全員参加していただき、保護者の方も大勢来ていただけたため、スペースが足りずアピタさんの通路をふさぐような形になってしまいました。そこで表彰式をイベントとは引き離して別日に行うなどの案や、アピタさん以外の場所で行うなど、来年度の方針を決めていきたいと思います。皆様いかがでしょうか？

委員 イオン松阪船江店さんをイベント会場にするのもいいと思います。松阪公民館がある建物でエスカレーターの隣に屋外のフリースペースがあり、広いと思います。インターネットで申請ができます。

事務局 船江さんで行うのであれば11月は寒さが厳しいかと思いますので10月に行うのが良いかもしれません。また、雨や風を防ぐことができないという問題もありそうです。

委員 アピタさんの良いところは、イベントに来る目的で参加される方だけでなく、買い物に来られた方がたまたま通りがかって参加していただけるというところだと思います。アンケートの結果からも全体の40%の方がたまたま立ち寄っていただけたと回答されており、手話に関心を持っていただける良い機会になっていると思います。イオンタウンさんの構造上それが難しく、集客が難しいと考えます。ですので、うまく誘導するなどして通路を確保し、今後もアピタさんで実施できたらいいなと思います。

委員 私も賛成です。参加者のほとんどがお子様連れの方で、そういう面から見るとアピタさんのフードコートの前という今の場所はとても良いと思います。

副会長 買い物のついでに、たまたま興味を持って参加されるという点がやはり良いと思います。アピタさんの1階に広いスペースがありますよね。1階と2階のフリースペースを両方借りるというのは難しいのでしょうか？

事務局 現在スペースを無償で使わせていただいている状態ですので、両方借りるというのは厳しいと思います。皆様のご意見をまとめると、基本はアピタさんの中で工夫して実施したいという結論となりました。

副会長 表彰式とイベントを同日に行うか、別日に行うかという点に関しては、これまで通り同日が良いと思います。ポスターの表彰式はろう者が司会をしており、

それを多くの方に見ていただけ、手話ってこういうものなんだとわかっていただけなのは良い機会だと思うので、別にするのはもったいないと思います。

事務局 次に手話教室の振り返りです。アンケートの結果から、初心者向けの内容だと物足りないことが分かったため、今後は日常にもう少し踏み込んだ手話を取り入れていきたいと考えています。

(事務局案説明)

皆さんにご意見いただきたいのは、方向性はこれで良いかということとその他何かご提案などありましたらお願いします。

委員 イベントには手話サークルや手話講習会に通っている人、またろう者も沢山参加されており、ミニ手話教室やお手話ベリ体験のところにいるろう者と自由に話をしたいという方が沢山いらっしゃいました。そのため混んでいない時には自由にお話をしてもらうなど臨機応変に対応していました。
提案いただいた案はとても良いと思います。しかし教材などを色々準備していただくのは大変かと思しますので、話のテーマや手話のレベルを調整してもらい、ある程度その担当のろう者におまかせして、お話していただいてもいいのではないかなと思いました。

事務局 手話で会話を自由にしたいという方は、かなりの上級者です。ですのでミニ手話教室やお手話ベリ体験の中で行おうとすると、ギャップが生じうまくいかなくなると思うので、分けて考える必要があると思います。ミニ手話教室やお手話ベリ体験では、初級から中級くらいまでの方を対象にし、フリーで話したい方は別の枠で実施できたらなと思います。

また、現在ミニ手話教室とお手話ベリ体験をわけていますが、1つに統合して教わりながらしゃべる時間を、1組ずつ長くした方がいいのではないかと考えています。

次はパネル展示の振り返りです。今回のイベントで設置したところ、スペースが足りないと感じました。最大限広げて使わせてもらっているにもかかわらず、人が1人ギリギリ通れるくらいのところがありました。また、パネル展示の前にある指文字しおりのコーナーはやはり人気なので、今回のイベントでも行列ができていました。そうすると、パネル展示や動画コーナーのモニターを見たい人とぶつかってしまいます。今年度はデフリンピックがあったため、その動画を流しましたが、どうしても流したい動画がなければモニターはおかなくていいかなと思います。天井からしか電源をとれないため、この位置しか設置できないという難点があり、導線が悪くなってしまうからです。コの字型に配置

してるので、出口がない状態です。ですのでモニターは置かず、通れるようにした方が本来はいいと思います。今後は見てもらいたい動画の QR コードを集めてその紙をお渡しし、並んでいただいている方に各自見ていただくのも1つの手段だと思います。

副会長 パネル展示について、両面の掲示だったのですが、指文字しおりの方に気がそれてしまい、裏側の方まで見ていただけることが少なかったです。やはり導線の工夫が必要かと思います。動画に関して、QR コードを読み込んで見ていただく方法はとてもいいなと思いました。

委員 指文字しおりのコーナーについてですが、スタンプセットをもう1セット用意していただければ嬉しいです。動画に関しては、生の手話を見てもらう方が大事なと思うので、なくてもいいかなと思います。今は YouTube などもありますし、松阪市でも手話動画もやっていますので、それを見てもらったらいいと思います。

事務局 スタンプセットに関してですが、扱っている会社が倒産し入手が困難です。また指文字しおりの混雑解消は手段がほとんどなく、楽しく取り組んではもらえませんが、どうしても時間がかかってしまいます。ですので他の部分で工夫し、指文字しおりを残せたらいいなと思います。

委員 では指文字スタンプの代案として、指文字シールなどはどうでしょうか？シールであればいくつか置いておけると思います。

事務局 シールよりスタンプの方が子どもは楽しんでくれると思っています。シールはスタンプに比べて少し味気なく、自分だけのオリジナルとか大事にしようなどの感覚が薄い印象です。ただ時間短縮の面ではいいと思います。

委員 私は指文字スタンプのコーナーにいましたが、確かにかなり混雑していました。ですので導線やレイアウトを工夫しつつ、適切な誘導を行い混雑しないようにする働きかけは必要かなと思います。また、整理券などを配るのもいいと思います。ただ「自分の名前はこういう指文字なんだ」というふうに、関心を持っていただけるととても良いコーナーだったと思います。

委員 ミニ手話教室は、耳の聞こえないろう者と耳の聞こえる手話サークルのボランティアさんがペアで担当していますが、基本的にはろう者から手話を教えても

らうというコーナーです。しかし、ボランティアさんが手話の成り立ちなど色々な説明を長い時間され、横にいるろう者は置いてけぼりになるということがあったようです。これは本来の目的とずれてしまうため、私たち担当者が注意して見ていなければなと思いました。

副会長 聞こえない人が主になって手話を教えることがやはり大事だと思うので、ろう者の話がお客さんに通じていなかったり、ずれている時にボランティアさんがフォローする形がいいですね。

会長 初めて参加したのですが、主催者側も参加されている人もにこやかな感じがしたので、現状維持でもすごくいい気はしています。今回参加者が増えたのは、アンケートの結果から手話の認知度が高まっているので、それに伴って安心して参加できる環境になってきているのかなと思いました。引き続きよろしくお願いいたします。

事務局 本日はお忙しい中お越しいただきありがとうございました。次回の会議では令和7年度の予算の結果と令和8年度の予算の説明を行います。引き続きよろしくお願いいたします。